



国民と自衛隊との架け橋！

隊 友

湘南支部ニュース

令和7年8月号 (No.262)

発行責任者

公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 中尾 剛久
茅ヶ崎市赤羽根 2661-26
Tel: 090-4897-4074「韓国新政権の行方と
我が国の安全保障」その2

湘南支部長 中尾 剛久

第2に北朝鮮は昨年6月、ロシアと「包括戦略パートナーシップ条約」を締結し、ウクライナと戦争中のロシア軍支援のため、弾薬等を含む装備品等の提供や自軍の部隊を派兵しているとされています。これらにより、ロシアとの結びつきが一層強固となり、高度な軍事技術の取得や、派兵による実戦経験の蓄積が北朝鮮軍の能力向上を加速させていくと思われます。さらには先述の条約には有事相互支援が盛り込まれていることから、朝鮮戦争の休戦が破れた場合には、ロシアによる軍事的支援も期待できると考えている可能性もあります。

第3は、米政権の動向にあります。在韓米軍の縮小ないし撤退について検討しているとの報道がありました。これがトランプ政権得意のディールの材料として、あえて高めの球を投げているのであればよいのですが、トランプ大統領は第1次政権の時も同様の主張をして、周囲に説得されて思ひとどまつた経緯もあるため、あながちブラフではないのかもしれません。これは極めて危険ではないかと思います。現在休戦中の朝鮮戦争は、その勃発の一因として当時の米国務長官のアチソン氏の発言が挙げられています。朝鮮半島を含まない対ソ防衛ラインが設定されていると認識した北朝鮮に南侵のインセンティブを与えた

というものです。もし実際に在韓米軍の縮小や撤退が行われるならば、新アチソンラインとも言うべき誤ったシグナルを北朝鮮に送ることになるのではないかと危惧しています。

要は北朝鮮の動きにも中国に対する以上の監視、注目が必要であるということです。仮に休戦が破られた場合、我が国は在留邦人の安全確保と輸送のみ実施しておけばいいということはあり得ません。これまでの両国の複雑な関係からも、我が国の国情からも自衛隊部隊の派兵は検討の専外と思いますが、好むと好まざるとに拘わらず、日本は韓国に対する兵站基地として機能せざるを得ません。1950年代の朝鮮戦争の時と同様です。

この意味からも、日韓両国の防衛協力は早急に推進すべきと考えます。両国の政権の動向で面と向かっての協力が困難な時期があるとしても、徐々に、かつ確実に両国の関係を深化させる必要があります。表立つての協力推進が困難なら、まずはB to Bでの協業の推進は良い方法だと思います。先ほど述べたように政府同士がうまくコミュニケーションが取れなくとも、民間同士の関係であれば推進できる可能性があります。何よりロジスティクス面での強固な結びつきは、切つても切れない関係に繋がり、両国の防衛協力の基盤になると思います。

李大統領の外交方針が就任演説のとおり継続されることを望みます。ですが、左派政権の誕生を待っていたかのように、徴用工を巡る裁判では三菱重工敗訴の判決が出されています。法曹の世界でさえそのような状況ですから、韓国の政策自体も世論の風向き次第で外交方針が一変する可能性はないとは言えません。いや哲学を押し通すというより、世論に流されやすいポピュリスト政治家との評価もあるのでなおさらです。

吉川榮治氏の講演予定です。

最近の我が国を巡る安全保障に

クサロンでは、第28代海上幕僚長の吉川榮治氏の講演予定です。

三菱重工敗訴の判決が出されています。

法曹の世界でさえそのような状況ですから、韓国の政策自体も世

論の風向き次第で外交方針が一変

する可能性はないとは言えません。

いや哲学を押し通すというより、世

論に流されやすいポピュリスト政

治家との評価もあるのでなおさら

です。

吉川榮治氏の講演予定です。

最近の我が国を巡る安全保障に

クサロンでは、第28代海上幕僚

長の吉川榮治氏の講演予定です。

吉川榮治氏の講演予定です。

・展示にあたっての理念・願い・問いかけ・意義?

昨年の、隊友会湘南支部 安全保障トークサロンでも報告させていただきましたが、PNG現地調査の体験を通じて自問自答していることは、「僕たち、私たちには、何か大切なものを忘れているのではないか?」ということです。

昭和100年にあたる本年は、戦争の昭和時代(20年間)十戦後の昭和時代(80年間)の大きな節目となる年(結節点)でもあります。戦没者の遺書には、かけがえのない大切な家族(親兄弟、子どもたち等)への想いが痛いほどに綴られています。その想いがあつたからこそ、彼の地に派遣されても壮絶な戦いを戦い抜く根源となつたのではないか? その想い/願いが叶えられなかつた無念を、このような形(PNGのこども君たちの絵画展)でも伝えることができたなら、幾ばくかの供養になるのではないだろうか? ?と思つたことが今回の展示に繋がりました。

昭和100年【戦争の時代20年間】+ (恩恵の平和の時代80年間)で終わるのではなく、これまでの【心身の姿勢・座標軸】を再検証・再考して、これから続く、次の100年間、すなわち、【昭和200年】に向けて、我々は、何を伝え、遺して繋いでいくのか? を考えるひとつ機会・場であつたらと願うところです。



岩手日報(7/17)
に掲載された
萩原理事役

【次号以下は左記の構成で予定しています。】

2 「パパアニューギニアの子どもたち展」開催への経緯・背景

3 展示内容の概要説明

(展示会場の構成に従つて)

4 来訪者の反応(会場での説明に対する)

今後の展望

3 食糧消費量を把握して減災

支部理事役 鼓 達也

防災対策としてローリングストックという方法がある。日常で自身がどれくらい食糧を消費しているのか把握しているだろうか。1日に必要な水の量や災害トイレキット数なども数値化してアナウンスされている。しかし個別性がありなくなくの備蓄では心もとない。

今回は主食でもあるお米について考えてみよう。

1ヶ月(30日・3食)茶碗1杯(概ね150g)。米1合を炊飯すると約330gになると考へてみると、1ヶ月で約6kgのお米を消費することになる。実際には毎食お米ではなく外食・麺類やパン食なども考えられるので、大人1人で毎月お米を6kgよりは少なめで5kgあれば十分ではないか。子ども茶碗は一般的に100gで炊飯前の量は約50gであり、子ども1人あたり1ヶ月約4kg(30日・3食)ではあります。

※お米1合は、体積で約180ml、重量では約150gです。炊飯すると、約330g(お茶碗2杯分)のご飯になります。

鹿児島県大雨特別警報

支部理事役

深澤 文晴

支部会員の訃報
謹んでご冥福をお祈り致します
正会員 故 池田 晃 氏
令和6年5月 ご逝去

令和7年度年会費納入者(敬称略)

湘南支部長(八月八日現在)

次の会員各位から年度会費を納入していただきました。ご協力に感謝申しあげます。

特別会員
日下部亘男、

支部会員の訃報
謹んでご冥福をお祈り致します
正会員 故 池田 晃 氏
令和6年5月 ご逝去

お米が必要となる。

このように、平時から自身や家族が何をどれくらい消費しているのかを把握してローリングストックしておくことでより現実的な減災行動へつながる。私は玄米を購入しているが、白米に比べて長期保存が可能というメリットがある。また私はグラノーラも備蓄しておりこれも常温保存が可能かつ調理不要でそのまま食べることが可能で

災害時にはメリットとなる(平時でも牛乳をかけて手早く食べられる)。備蓄する際に改めて自身や家族が何をどれくらい必要とするのか試算して備蓄することが必要である。

支援実績..約43t
給水実績..約127t

活動部隊..陸自第12普通科連隊

支援実績..約1,300名を支援

活動部隊..陸自第12普通科連隊

支援実績..約1,300名を支援